

季刊

唯物論研究協会編集

思想と現代

1988

12
16号

特集

フランス革命100年

その光と影

〈座談会〉

フランス革命200年

江口朴郎

マルクスのフランス革命論によせて

湯川和夫

大革命下の啓蒙思想

渡辺憲正

進歩についての断章

大津真作

ノート／現代平等論にとつての

小林武

〈ぶっく・えんど〉

フランス革命を知るために

今野佳代子

安藤 悠

発売元

白石書店

現代日本の支配構造分析

渡辺 治

質的变化をもたらしている高度成長後の社会関係と支配の構造を分析。 二五〇〇円

ジャパメリカの時代に

加藤 哲郎

日本の現段階をどう見るか。現状認識は、どのような発想の転換が必要か。 二三〇〇円

狂気の近代

藤田幸一郎

歴史認識はどのような転換をせまられているか。ユニークな西欧近代史試論。 一八〇〇円

女のアメリカ

荒 このみ

私たちの新しい生き方。興味ある最新情報。革命から展開へ。 一八〇〇円

和辻哲郎編

山田 洪

日本学の動きが注目されるなかで、和辻の思想の構造を批判的に検討。 一八〇〇円

花伝社
発売元 共栄書房

〒101 東京都千代田区西神田2-7-6川合ビル

電話 03-263-3813 振替東京4-59661

日本文化の諸相〈唯物論研究〉年報4

唯物論研究協会編

定価2700円 千250円

「新京都学派」と「新国家主義」／上田 浩 現代における「日本的なるもの」／中村浩爾 『菊と刀』再考／河村 望 柳田国男と日本文化論／田中 収 柳宗悦の民芸論—労働論・技術論の視点から／仲村政文 奄美の宗教と文化／田平暢志 ドイツにおける日本研究についての一考察—研究状況、問題点、提案—／ヴォルフガング・ザイフェルト／尾関周二訳 マルクスにおける「意識」の問題—秋間実氏の批判に答えて／石井伸男 創造の弁証法—主体的弁証法の問題—立野保男 現代日本社会の思想的位相／吉崎祥司

唯物論研究協会編 定価各2800円千250円

唯物論の伝統と現代〈年報85年版〉

弁証法の現代的意義〈年報86年版〉

白石書店

☎03(291)-7601
振替東京2-16824

東京都千代田区神田神保町1-28

季刊 思想と現代

1988年12月
第16号

唯物論研究協会編集

発売元 白石書店

目次

特集 フランス革命200年——その光と影 〈座談会〉

フランス革命200年——その光と影 ……………江口朴郎／湯川和夫／司会・古茂田宏	3
マルクスのフランス革命論によせて……………渡辺 憲正	32
大革命下の啓蒙思想……………大津 真作	48
——『両インド史』のレーナル師の場合——	
進歩についての断章……………小林 武	65
——アジアの近代化をめぐる——	
ノート／現代平等論にとってのフランス革命……………安藤 悠	80
◆ぶっく・えんど	
フランス革命を知るために……………今野佳代子	101
*人間および市民の諸権利の宣言（原典対訳）……………	106
生涯をかけた天皇制イデオロギー復活阻止の闘い……………山口 和孝	110
——宗教学者佐木秋夫氏を偲ぶ——	
市民社会での諸個人の現実的生活過程……………宮田 和保	113
〈文化時評〉	
世紀末考……………太田 直道	127
〈もう一つの思想家像〉	
龍馬の論理——主体的実務家像——……………重本 直利	137
〈書評〉	
加藤哲郎著『ジャパメリカの時代に』……………河村 望	148
ボワイエ著／山田鋭夫ほか訳『世紀末資本主義』……………中島 康予	150
芝田進午編『生命を守る方法』……………佐野 正博	151
ビーダーマン著／尼寺義弘訳『フォイエルバッハ』……………亀山 純生	152
〈前号批評〉	
天皇主義ムードの高まりに抗して……………種村 完司	153
声明・天皇主義キャンペーン中止を要求する……………	112

編集後記

装幀フレッシュ・アップ・スタジオ・渋川泰彦